

会 議 録

日 時	令和6年 1 月 16 日 (火) 14:00~16:10						
場 所	総合文化センター 視聴覚室						
件 名	令和5年度 第6回社会教育委員会(臨時会)						
出席者	社会教育委員:小栗正敏、加藤一哉、渡邊啓介、松浦大哲、岩島留美子、安藤裕子、有賀秀雄、伊藤孝一、浅沼克郎 事 務 局:藤井志保(社会教育課課長補佐)、川畑篤仁(同主査)						
議 題	<p>1 挨拶</p> <p>2 提言書の検討</p> <p>(1) 各グループでの検討</p> <p>・提言書の項目や誤字脱字、表現の仕方について検討した。</p>						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">I グループから</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">2 グループから</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">I 研究テーマを設定した理由</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>・地域学校協働活動をなぜ進めなければいけないのか(先の見通せない社会で子供たちがどのように生きていくか学校教育だけでは補完できない役割、地域の力を借りて等)の理由付けを加筆してはどうか。 →加筆する。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>・小見出しまたはかたまりごとに 1 行空けると読みやすいのでは。 →かたまりごとに 1 行あける。</p> </td> </tr> </table>	I グループから	2 グループから	I 研究テーマを設定した理由		<p>・地域学校協働活動をなぜ進めなければいけないのか(先の見通せない社会で子供たちがどのように生きていくか学校教育だけでは補完できない役割、地域の力を借りて等)の理由付けを加筆してはどうか。 →加筆する。</p>	<p>・小見出しまたはかたまりごとに 1 行空けると読みやすいのでは。 →かたまりごとに 1 行あける。</p>
	I グループから	2 グループから					
	I 研究テーマを設定した理由						
	<p>・地域学校協働活動をなぜ進めなければいけないのか(先の見通せない社会で子供たちがどのように生きていくか学校教育だけでは補完できない役割、地域の力を借りて等)の理由付けを加筆してはどうか。 →加筆する。</p>	<p>・小見出しまたはかたまりごとに 1 行空けると読みやすいのでは。 →かたまりごとに 1 行あける。</p>					
	II 調査について						
	<p>・調査目的(地域学校協働活動の現状と課題を把握すること等)をはじめに明記する。</p>						
	III 調査結果						
<p>・「CS が始まって数年…」→「CS が始まって 1 ～ 3 年…」と年数を明記する。</p> <p>・「学校の負担を減らすためにも」の表現を変更する。→削除する。</p> <p>・「年間計画の主体」→「年間計画作成の主体」</p> <p>・「自分がどのように関わって活動していけばいいのか。」など、CS への関わり方について回答した委員が約 15%であった」 →「自分がどのように関わって活動</p>	<p>・成果と課題について箇条書きで列記した方が読みやすいのではないか。 →箇条書きで表現し、説明が必要な箇所は文章で表現する。</p> <p>・「地域ぐるみで子供を育てていこう」という気風」→「地域ぐるみで子供を育てていこうという機運」</p> <p>・推進員の活動の中では人材の育成までこなすのは難しいので、地域の人材を発掘する・見つけるという表現がいいのでは。</p>						

していけばいいのか。」と回答した委員が約15%であった」

IV提言

・学校運営協議会の回数は(部会活動含め)3回以上の実施の方がいいのではないか。

・子供たちの自己有用感の向上だけでなく、地域の方の自己有用感の向上も重要なメリットである。
・学校側も地域側もCSの活動のねらいについてお互いに理解することが必要。

3 今後の予定について

- (1) 第7回社会教育委員会 2月21日(水)
- (2) 提言書の報告について

4 事務局より

- (1) 配付物等紹介
- (2) 次期研究テーマ選定に向けて

5 閉会の言葉